

ちちぶ定住自立圏の具体的な取り組み

2 結びつきやネットワークの強化

地域公共交通

- 圏域全体の公共交通ネットワークの見直しを進め、だれもがわかりやすく、満足度の高い交通システムづくりを進めています。

交流・移住

- 平成22年度から「ちちぶ空き家バンク」を開始しています。空き家情報を充実させ、移住者の増加を目指しています。

ICTインフラの整備

- 秩父市が運用している防災・防犯情報のメール配信システムを、各町と共同利用し、平成25年8月1日から運用を開始しています。

水道

- 施設の共同化や管理の一体化を行い、経営や技術の基盤強化を目指すため、水道の広域化に向けた検討を進めています。

3 圏域マネジメント能力強化

人材育成

- 定住自立圏事業を効果的に実施するため、各分野の専門家を招き、地域の問題と一緒に取り組んでもらうことにより、担当職員の資質向上を図っています。

- 議員や職員対象の合同研修会を実施するほか、行政情報収集ツールを導入し職員の能力向上に努めています。



ちちぶ定住自立圏の取り組み

ずっと安心して暮らしていける圏域を目指して

定住自立圏とは

全国的に、人口減少や少子高齢化が見込まれていますが、周辺の市や町が協力して行政サービスを行うことにより、安心して暮らせる地域をつくる政策です。

生活に必要な医療や雇用、交通などの機能を、市や町が役割分担しながら、支えていくことで、安心して住み続けていける地域づくりを目指します。



ちちぶ地域定住自立圏の取り組みに関する詳しい内容は、下記のホームページでご覧いただけます。また、ご意見等ありましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

ちちぶ定住自立圏推進委員会

[秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町]

事務局：秩父市市長室 地域政策課

〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-15 TEL 0494-22-2823 FAX0494-24-7272

ホームページURL：<http://www.city.chichibu.lg.jp/menu1043.html>



横瀬町	まち経営課	TEL 0494-25-0112
皆野町	総務課	TEL 0494-62-1231
長瀬町	総務課	TEL 0494-66-3111
小鹿野町	総合政策課	TEL 0494-75-1238

ちちぶ定住自立圏

秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町は、昔から同じ生活圏の中で、協力し合いながら発展してきました。

平成21年9月に定住自立圏協定を結び、1市4町が一丸となって圏域行政サービスの向上を進めています。

1 生活機能の強化

医療 いつでも安心して受けられる医療体制を目指します

医師・医療スタッフの確保

- ちちぶ医療協議会で圏域全体の医師・医療スタッフの確保、救急医療体制の維持、予防医療やリハビリテーションの充実に向けた取り組みを実施します。
- 圏域内の5病院が診療所とも連携して、日本プライマリ・ケア連合学会のプログラム認定を受け、後期研修医を募集する体制づくりを推進します。医師の勉強会（プライマリー医塾）を開催し、秩父圏域で研修医を育てるための手法を学んでいます。
- 安心して秩父で子どもを産めるよう、産科医療機関への財政支援や産科医療の充実に向けた情報収集を行います。

保健・福祉 だれもが健康に暮らせる地域を目指します

保健福祉の充実

- 口腔ケア**
 - 歯科健診やセミナーを通して、「歯と口腔内の健康」を保ち、口腔機能の低下を防ぐための取り組みを行っています。
- 自殺予防**
 - 身近な人が自殺で命を落とさないために、うつ病等について地域の理解と連携を深める取り組みを行っています。

教育 いくつになってもだれでも学べる機会をつくります

生涯学習

- ちちぶ学セミナー**
 - 秩父地域の自然・歴史・文化等を理解し、学ぶことができる場づくりに取り組んでいます。



ちちぶ学セミナー
現地調査の様子



医師の勉強会（プライマリー医塾）の様子

救急医療の充実

- 3病院で担当している二次救急病院群輪番制を維持していくため、病院の負担を軽減する必要があります。そこで、休日及び準夜帯の調剤薬局を開設したり、初期救急を診療所の医師が支援する等、救急医療の充実を行うための支援を実施します。

リハビリテーション体制の充実

- 予防医療を充実させるため、特定健診時などを活用して試行的に歯科健診や食塩摂取量推定調査を実施します。また、特定の年齢に食習慣調査等を実施します。
- 「私の療養手帳」の検討、普及を秩父郡市医師会と連携して取り組みます。
- 高齢になっても、寝たきりにならず元気に自立した生活をおくれるよう「ちちぶお茶のみ体操（通称：茶トシ）」を普及します。

子育て支援

- ファミリーサポートセンター**
 - 育児の援助を行いたい人と受けたい人との相互援助活動を実施し、仕事と育児の両立ができる環境づくりに取り組んでいます。

病中病後児保育

- ニーズを踏まえながら、受け入れ体制の仕組みづくりを検討しています。

保護者の学習

- 親学の普及・啓発**
 - 家庭における親のあり方や子育ての方法について、親学アドバイザー等による支援や周知活動を行っています。

産業 行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいまちを目指します

観光の促進

秩父地域おもてなし観光公社

- 秩父地域の観光資源を繋げた「地域旅」を構築し、発売を開始しました。同時に、SNSを活用した情報発信を行い、ちちぶのファン拡大を図っています。
- 圏域全体を対象とし、新たな視点から観光客を回遊させる「ちちぶスイーツ巡り」を開始しました。また、イベントによる観光客の増加も目指しています。
- 観光協会や旅館組合と連携し、滞在型観光を推進しています。

外国人誘客促進

- 外国語表記を含めた観光案内板を設置し、イメージアップと外国人観光客にもわかりやすい観光地づくりを進めています。
- 観光協会HPの外国語表記のリニューアル等の助成や海外事業者との商談会にも出展し、外国人への情報発信も実施しています。

ジオパーク活動の推進

大地の守人（もりびと）を育む

- 教職員研修や、地域住民の郷土学習や学校教育を支援し、「ジオパーク」を積極的に普及啓発しています。
- DSC（デジタルスタンプコレクション）34を開設。楽しくジオサイトの学習ができるようになりました。

楽しく学ぶ
ジオパーク秩父



世界ジオパークを目指して

- 「地恵（ちえ）の旅」などの旅行商品を造成し、学習観光を誘致しています。
- 第1回JGN（日本ジオパークネットワーク）全国研修会秩父会議を開催。今後もネットワークの活動に積極的に貢献し、「世界ジオパーク」の認定を目指します。

環境 圏域の豊かな自然を守るとともに、森林資源の活用を図ります

環境保全

- 「ちちぶ環境基本計画」に基づき、圏域全体での環境保全を推進します。
- 資源循環型社会と低炭素社会の実現を目指し、使用済みてんぷら油からバイオディーゼル燃料（BDF）を製造し、圏域で利用します。



地域ブランドの確立・販売促進

キャンペーン、展示商談会への出展

- イベントや展示商談会等に出品し、秩父の物産のPRを実施しています。また、商品開発・発掘を行い、商品の「ちちぶ」ブランド化を目指しています。
- 商品企画・開発・販売を効果的に行うため、地元業者に対し専門家によるヒアリングの実施や指導も行っています。

販売促進イベントの開催

- 都内のレストランを借りて、秩父の食材を活用したコース料理「秩父フェア」を開催し、秩父の食材をPRしました。
- 新聞社や百貨店バイヤーなどと商品のマッチングを支援するツアーを実施しました。

企業支援の充実

- 圏域内の企業ニーズを把握し、企業の求める支援体制づくりを進めています。
- 企業誘致のための用地情報や支援情報を一元化し、圏域全体で雇用の創出に取り組んでいます。
- 圏域内企業の経営力を向上させるため、専門家による訪問コンサルティングやセミナーを実施しています。

有害鳥獣対策

- 秩父地域鳥獣害対策協議会への支援を行い、効果的かつ統一した鳥獣害対策を実施しています。

支援事業による
森林作業道の開設



森林の保全・活用

- 平成24年5月「秩父地域森林林業活性化協議会」を設立し、森林の保全・活用を目的とした、将来性・持続性のある新たなビジネスプランなどの事業を実施する圏域内の事業者、NPO法人等への支援を実施しています。
- 平成25年3月「ちちぶ定住自立圏森林整備・活用に関する行動計画」を策定し、ホームページの開設、3次元レーザースキャナーを使った森林資源のデータベース化に向けた検討を行っています。